

映画『うまれる』の自主上映会を開始して4年が経過しました。

おかげさまで昨年末までに50万人以上の方に映画をご覧いただく事が出来、スタッフ一同、心より感謝いたしております。

ありがとうございます!

5年目となる今年は、改めて「原点」に戻り、
自主上映会を通じて、『うまれる』だからこそ出来る事、

愛する我が子に

「うまれてくれて、ありがとう!」

と感謝を伝えるきっかけをお作り出来ないかなぁと思っています。

- ・新しい命を授かった時の戸惑いと喜び、
- ・お腹の中で大きくなっていく我が子に芽生えた新たな感情、
- ・出産への期待と不安、
- ・生まれた時の感動、
- ・少しずつ成長していく姿、、、

ひとつひとつにジーンとし、笑い、時には涙し、
「親にしてもらえて良かった!」と思うものの、、、
日々の生活の中で、どうしても

「どうして言うことを聞いてくれないの!」

「どうして◎が出来ないの!?!」

「もっと◎して欲しい!」

と色々な事を求めがち。。。)

(自戒を込めて。。。)

もちろん、それは決して悪い事ではないと思いますし、
現代社会で生きていくためには、しつけや教育も不可欠です。

親も人間。

完璧な存在ではないし、魔法使いでもない。

と開き直りたいところでもありますが(笑)、

やっぱり

親として、愛する我が子に出来るだけの事はしてあげたい。

そこで考えてみたところ、

子どもが親に求めている最も大切な事の一つは、

「自分がここにいていいんだ」

という確証をくれる事なのではないかと思うのです。

- ・産まれてきてくれた事
- ・親にしてくれた事
- ・一緒にいてくれる事
- ・元気に成長してくれている事
- ・お世話をさせてもらっている事
- ・新たな経験をさせてくれている事

そんな一つ一つの奇跡の積み重ねに感謝し、親子の関係を深める機会があっても良いのではないのでしょうか？

(もちろん子どもだけでなく、愛するパートナーや親御さん、大切なご友人への感謝も素敵だと思います♪)

「うまれてくれて、ありがとう」

と伝える事は、皆さまの親子関係、人生、パートナーシップにも、きっと、幸運が舞い降りるきっかけになるのでは、と思います。

改めて、

感謝の気持ちを伝えてみませんか？